

試 験 問 題

(上級<京都方式>課題作文)

(令和8年5月25日～6月3日実施)

注意事項

- 課題作文の字数は、**900字以内**に限ります。
- 試験時間は、**40分間**です。

設問1、2について、あなたの考えを900字以内で述べてください。

京都市では、2026年から25年先の未来を見据え、「こういうまちであり続けたい」という、京都の理想を描いた「京都基本構想」を2025年12月に策定しました。

「京都基本構想」が描くまちを実現するため、構想の理念を分野横断のアクションプランである「新京都戦略」等に反映し、必要な方策を具体化して取組を進めているところです。

「新京都戦略」では、京都の価値・強みを踏まえ、「ひらく・きわめる・つなぐ」の3つの視点で戦略を推進しており、その中でも、「京都基本構想」が示す京都の本質的な価値・魅力を未来に受け継いでいく象徴的な取組として、「京都学藝衆構想」を位置づけ、幅広い世代が京都の多彩な価値・魅力に触れ、共に学び、交流する「夢中になれる学び合い」の機会の創出を目指しています。

「京都学藝衆構想」の取組の一つに、「公共空間の活用による交流の場の創出」が挙げられ、本市では、新しい図書館構想に向けた「つながる。LIB×LAB プロジェクト」を新規事業として推進しています。本プロジェクトでは、市民の図書館に対する多様なニーズを把握するとともに、それらを踏まえた図書館の多機能化を実現することで、地域住民にとって居心地のよい第三の居場所（サードプレイス）づくりに取り組むこととしています。



設問1

子育て世代や高齢者だけでなく、中高生・大学生にとって、図書館が、共に学び、交流する「学び合い」の場となるには、図書館をどのように活用するのが効果的だと考えますか。具体的な活用方法を提案してください。

設問2

設問1で提案した活用方法が実現した場合、幅広い世代の方にその活用方法を知ってもらい、実際に利用してもらうために、自身の経験や強みをどのように活かして広報しますか。